

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月28日

事業所名 コロニー児童デイサービスまえた

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	1	利用人数が多い時には活動を屋外と室内に分け対応しています。	限られたスペースではあるが、活動内容を検討しながら安全に過ごし、子供たちにも楽しい場所と思えるような環境作りを取り組んでいます。
	2 職員の配置数は適切である	4	3		職員の配置を適正に考え勤務表を作成しています。	急な休みなどが出た場合には近隣の事業所と連携を行い、事業所間で調整を行い対応しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2		手洗い場が1か所しかないのでキッチン等を利用しています。	トイレの段差や洗面台の大きさの改善を検討していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				毎月1回は職員ミーティングを行い、行事計画や日中活動の振り返りなど常に情報共有を行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			職員全員で集まり、内容を議論、検討しながら周知しています。	保護者の意見を組み込みながら、事業所や職員で出来る事を議論し、改善に繋がられるように繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				会報や家族会の開催で周知伝達に取り組んでいます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			1	6	第三者評価は実施していません。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2			事業所内で出来る研修を取り入れ、年間計画を立て実施していきます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			ニーズに合った個別記録を記入しています。	保護者の意向を面談等で確認しながら計画書の作成に取り組み支援会議の開催を実施します。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				年に1回は実施していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			毎月担当チームでミーティングを行っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				実施した活動の内容を振り返り、良かった点、次にどうしたらもっと良くなるのかを職員間で話し合いを行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		状況に合わせて、児童の様子を見ながら対応しています。	児童の体調面や情緒面に配慮を行い、無理強いはせずに状況に合わせて対応していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎日、ミーティングを行い、申し送り等を行っています。	細かい部分も常に職員間で連携しながら支援を行います。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		常に情報共有を意識して連携を行っています。	その日に出来ない場合には次の日に申し送り等で必ず連携を行い情報共有をしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				ポイントをしっかりと抑え、支援内容に沿った記録の記入の仕方を職員間で周知します。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			半年に一回は必ず職員会議で実施しています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2			次年度も職員で内容の確認を行い、支援を実施していきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	1		支援計画書を作成して いる担当職員が参加し ています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	7			先生との引継ぎ時に対 応しています。	学校からのお知らせ等を把握し、保護者や先生との連携を行 いながら対応できる様に務めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4		3		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	6	1		発達支援事業所との連 携を細かく行っていま す。	保護者にも安心して利用していただけるように、事業所間で 連携を取りながら対応させていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	3	4			移行に向け、これまでの支援内容や本人の様子を相談支援 専門員を中心に連携出来るよう取り組んでいきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	1	2		専門機関からの助言が頂けるように連携を行い、繋がりが持 てる関係性を築いていけるよう取り組んでいきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1		6		地域交流を目的とし、地域のイベントなどに参加して場の共有 や交流が持てるような活動内容を取り入れます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4	1	2		開催された時には参加し、必要な支援や情報提供が出来るよ うにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	1		送迎時には必ずその日 の状況を伝え引継ぎを 行っています。	事業所だけではなく、家庭での様子も確認し、本人の状況に 合わせた対応をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		6	1	保護者から相談があっ た場合には、事業所で 行っている対応をアドバ イスしています。	保護者の方とお子さんのより良い関わり方が出来るように相 談しやすい環境作りを行い、保護者の気持ちに寄り添いな がら対応していきます。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	2		変更があった場合に は、確認を行いながら説 明をしています。	内容の変更等がある場合には適切に説明を行い、対応させ て頂きます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		1	6		年間行事に取り組み、保護者会や親子交流会などを実施して いきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	2		苦情箱を設置していま す。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	2	1	行事への参加の確認な どは手紙や連絡帳を通 して行っています。	会報の発行や発信の仕方を事業所内で検討し、対応してい きます。
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に関わった事業運営を図っている		2	5		地域との交流は実施出来なかったため、今後は交流の機会 を検討します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1			不足しているマニュアル(防犯、感染症)は次年度に作成します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			年に2回、避難訓練を行いました。	実施した後は保護者への実施説明を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		1	事業所内で研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	2		虐待防止法に基づき、必要な場合には虐待防止委員会を開催し、十分な説明を行いながら対応をさせていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1	該当する児童はいないです。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				事例集としての共有には至っていないため、次年度にまとめ作成します。